

研究機関：広島大学

研究課題名	C型肝炎ウイルス排除後の病態と予後を規定する因子に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山一彰
研究期間	2020年8月5日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者	1990年1月から2020年3月の間に、広島大学病院および共同研究機関においてC型肝炎患者に対し抗HCV治療を実施しウイルス排除ができた成人患者。
意義・目的	C型肝炎ウイルスの排除後には、肝線維化の改善と発癌率の低下が得られることが知られているものの、その詳細な病態(ウイルス存在時との違い)や長期予後については、まだ十分に分かっていない。本研究では、それら臨床上的疑問点を明らかにすることを目的とする。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は患者に於て、生年月(年齢)、性別、身長、体重、肝組織所見(新犬山分類)、罹病期間、肝障害発現時期、輸血歴、飲酒歴、家族歴、合併症、既往歴、インターフェロン治療歴(開始日、終了日、種類、治療効果)、DAA治療歴(開始日、終了日、種類、治療効果)、最終抗HCV治療歴(開始日、終了日、種類、治療効果)、内服薬、血液検査(T Bil, D Bil, AST, ALT, LDH, ChE, TP, ALP, γ GTP, UA, BUN, CRN, Na, K, Cl, Ca, P, Fe, TC, TG, LDL-C 血糖, 末血一般, アルブミン, HbA1c, 尿一般, PIVKA, AFP, CEA, CA19-9, M2BPGi, PT, eGFR)、VTQQ値、fibroscan値、移植の有無、発癌の有無(癌のStage、治療内容、病理所見など)、生死(死因)です。なお、個人を特定可能な情報は解析に用いません。
共同研究機関	大垣市民病院、国立公務員共済連合会虎の門病院、札幌厚生病院、大分大学 広島大学に情報を集め広島大学(研究責任者 茶山一彰)が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 茶山一彰
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。(モニタリング有の場合)ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5190 広島大学病院消化器・代謝内科 教授 茶山一彰(研究責任者) 広島大学病院消化器・代謝内科 講師 三木大樹(研究担当者)